

# 『Mind Charging』

第 224 回 発行：入試広報室 発行日：令和 3 年 3 月 1 日

## 笑福亭鶴瓶の名言



神様から「お前もなんかせい」と言われて

人は生まれてきてるんや。だから自分を信じるべきや。

テレビで見るイメージは、常に笑顔で親しみやすさを感じる鶴瓶さんですが、印象的なエピソードで『一緒に写真を撮ってほしいと声を掛けられた一般人と仲良くなって最終的にその人の結婚式に参列した』というものが、このエピソードについては、正直なところタレントという立場を考えると“身の危険”ということもあり、かなり“やりすぎ”なレベルかもしれませんが、このエピソードを日常のようなテンションで話す鶴瓶さんを見ながら『この人にとってこのことは些細なことなんだな』と、器の大きさを感じたことを覚えています。

私は今回の言葉を『神様から自分の存在意義を認められているのだから自信を持って生きていこう』ということだと読み取りましたが、取り組む内容は指定されていませんので“これが私の使命だ”と信じて取り組んでいくしかありません。物や情報、アイデアが溢れたこの現代において“完全オリジナル”を見つけることは不可能に近いほど困難ですから、同じことを考えている人や先に取り組んでいる人を見ると自分の存在意義を疑ってしまう時もあると思います。逆に自分への自信のなさから『私も同じです』と自分で考えることから逃げたりすることもあります。私は人と違うことでも同じことでも自分が『これだ！』と思うものを見つけ、精一杯取り組むことが重要だと考えます。まずは自分で自分を“ごまかしなしで”認められるように日々成長していきたいものですね。正智深谷高校が『誇れる自分』と『称えあう仲間』で溢れる学校にしていきたいと思います！

(編集委員：入試広報室 鈴木)

笑福亭 鶴瓶(しょうふくてい つるべ)は、上方落語の名跡。笑福亭 鶴瓶(しょうふくてい つるべ、1951年(昭和26年)12月23日 - )は、日本の落語家、タレント、司会者。本名は駿河 学(するが まなぶ)。大阪府中河内郡長吉村(現・大阪市平野区)出身で、兵庫県西宮市在住。所属事務所はデンナーシステムズで、長年所属していた松竹芸能にも籍を残している。血液型O型。愛称は「鶴瓶さん」「べーさん」「鶴瓶師匠」「べー師匠」「鶴瓶ちゃん」「まーちゃん」、「まなぶくん」など。落語家として上方落語協会相談役を務めている。(Wikipedia 参照)